



JAPAN
WOOD
LABEL



WOOD
CARBON
LABEL

Port Plus 大林組横浜研修所

Port Plus 大林組横浜研修所では、国産材72%を含む1,990m³の木材が使用されています。
木材が炭素を貯蔵する性質を生かし、カーボンニュートラル社会の実現に貢献しています。
また、国産材を積極的に活用することで、日本国内の森林の適切な循環利用にも貢献しています。

木材使用量： 1,990 m³
国産木材使用量： 1,435 m³
国産材割合： 72 %
炭素貯蔵量： 1,652 t-CO₂
使用木材樹種： カラマツ、スギ、他